東京都立世田谷泉 高等学校 令和7年度 教科： 工業 科目： 計算・ワープロ実習

教科： 工業 科目： 計算・ワープロ実習 単位数： 2 単位

対象年次・講座： 1~4 年次 ① ② ③ ④

教科担当者： ①南端 美伸 ②南端 美伸 ③樺葉 昌高

使用教科書： (自校作成テキスト)

教科 工業 の目標：

- 【知識及び技能】 工業の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。
- 【思考力、判断力、表現力等】 工業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえて合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。
- 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

科目 計算・ワープロ実習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ワープロや表計算の基本操作について理解している。表計算で基本的な計算を行い、どのような手順で文書作成をすればよいか、コンピュータをどのように操作すればよいか理解している。	どのような手順で操作を行えばよいか考え行動でき、また、確実に計算するためにはどのような点に留意が必要か考察し、表現できる。	授業へ積極的に参加し、安全に操作をしようとしている。また、ものを大切に扱おうとしている。整理整頓や後片付けを大切にしようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
前期	A パソコンの基本操作 【知識及び技能】 コンピュータにおける情報処理の仕組みや手法、機器の構成、活用方法を理解し、関連する技術を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 情報収集力や実務処理能力の向上を目指し、自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	・キーボードの操作方法 ・タッチタイピングの練習 ・日本語ワードプロセッサ、マイクロソフトワードの扱い方(文字入力)	【知識及び技能】 コンピュータによる処理手順を理解し、ものづくりに関する事象を処理する道具として活用することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 実務処理を通して情報の集計と分析について自ら学び、情報技術の活用に関与する主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	○		○	8
	B ビジネス文書の作成 【知識・技能】 ビジネス文書を作成するための適切な文章表現方法を学び、構成及びソフトウェアの活用により効果的案ビジネス文書を作成する方法を理解し、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現等】 文章表現方法を踏まえ、コンピュータを用いた文書作成においての課題を見いだすとともに解決策を考え、科学的な根拠に基づき検証改善ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 コンピュータを用いた文書作成力の向上を目指して自ら学び、発信力について協働的に取り組む態度を身に付けている。	・文章編集方法及びビジネス文書のレイアウトの確認 ・一人1台端末の活用 ・日本語ワープロ検定問題を使用	【知識・技能】 指定された書式で文章を作成する、画像の挿入・配置、表の作成 【思考・判断・表現】 資料を参考に、テーマに沿った文章を作成する、論理的な構成で文章を組み立てる 【主体的に学習に取り組む態度】 課題解決のために、資料を読み込み、複数の視点から情報収集する、疑問点や課題を自ら発見し、解決策を考える	○	○	○	18
	C 日本語ワープロ検定試験に向けた取り組み 【知識・技能】 ビジネス文書を作成するための適切な文章表現方法を学び、構成及びソフトウェアの活用により効果的案ビジネス文書を作成する方法を理解し、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現等】 文章表現方法を踏まえ、コンピュータを用いた文書作成においての課題を見いだすとともに解決策を考え、科学的な根拠に基づき検証改善ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 コンピュータを用いた文書作成力の向上を目指して自ら学び、発信力について協働的に取り組む態度を身に付けている。	・ビジネス文書の作成 ・一人1台端末の活用 ・日本語ワープロ検定2級レベル	【知識・技能】 ソフトウェアを用いた実務処理の方法を理解し、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 実務処理の表現方法を踏まえ、コンピュータを用いた表現の課題を見いだすとともに解決策を考え、検証改善ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 実務的処理能力の向上を目指して自ら学び、協働的に取り組む態度を身に付けている。	○	○	○	12
D 表計算ソフトの基本操作 【知識及び技能】 情報を正しく理解し、必要な技能を身に付けている。数式の作成などの技能を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 コンピュータの活用を通して、データの整理・解析に積極的に取り組み、学習意欲を發揮している。	・マイクロソフトエクセルの扱い方 ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 セル・シートなどの基本的な知識の理解。相対参照・絶対参照を用いた簡単な四則演算を行うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 情報技術の活用について主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	○		○	10	
E 表計算ソフトの活用 【知識及び技能】 情報を正しく理解し、必要な技能を身に付けている。数式の作成、データの分析などの技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】	・マイクロソフトエクセルにて関数の活用 ・一人1台端末の活用 ・情報技術検定問題を使用	【知識及び技能】 SUM・AVERAGEなどの簡単な関数を用いた表計算を行うことができる。正確かつ迅速にデータ処理を行うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 基本となるデータに基づき、指示された内容を理論					

後期	<p>情報を分析し、考察・判断し、適切に表現することができる。データに基づいて分析結果を明確に表現することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 コンピュータの活用を通して、データの整理・解析に積極的に取り組み、学習意欲を発揮している。</p>	<p>データを正確に分析し、結果を正しく出力することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 情報技術の活用について主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>	○	○	○	18	
	<p>F 情報処理技能検定試験に向けた取り組み</p> <p>【知識及び技能】 情報を正しく理解し、必要な技能を身に付けている。数式やグラフ作成、データの分析などの技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 情報を分析し、考察・判断し、適切に表現することができる。データに基づいて分析結果を明確に表現することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 コンピュータの活用を通して、データの整理・解析に積極的に取り組み、学習意欲を発揮している。</p>	<p>・マイクロソフトエクセルにて関数の更なる活用 ・一人1台端末の活用 ・情報技術検定準2級レベル</p>	<p>【知識及び技能】 IF・VLOOKUPなどの関数を理解し、条件分岐・表検索を行うことができる。グラフの作成を行い、データ分析を行うことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 IFのネストやIFとAND・ORを用いた複雑なデータ処理・解析を行い、分析結果を論理的に表現することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 情報技術の活用について主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>	○	○	○	12
						合計	78

東京都立世田谷泉 高等学校 令和7年度 教科： 工業 科目： 工業実習A

教科： 工業 科目： 工業実習A 単位数： 2 単位

対象年次・講座： 1～4 年次 ① ② ③ ④

教科担当者： ①藤井 祐介 ②関口 旺人 ③南端 美伸 ④鈴木 昌英 ⑤向 麻里子 ⑥椋葉 昌高 ⑦宗雪 好秀 ⑧勝澤 辰哉 ⑨福田 善謙

使用教科書： (自校作成テキスト)

教科 工業 の目標：

- 【知識及び技能】 工業の各分野に関する技術を実際の作業に即して総合的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。
- 【思考力、判断力、表現力等】 工業の各分野に関する課題を発見し、工業に携わる者として科学的な根拠に基づき、工業技術の進展に対応し解決する力を身に付けている。
- 【学びに向かう力、人間性等】 工業の各分野に関する技術の向上を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

科目 工業実習A の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
工業及び木材加工、機械製図、電気工事に関するの各分野における技術を実際の作業に即して総合的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	工業及び木材加工、機械製図、電気工事に関する課題を発見し、工業に携わる者として科学的な根拠に基づき、工業技術の進展に対応し解決する力を身に付けている。	工業及び木材加工、機械製図、電気工事に関する技術の向上を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
前期	A 人と技術／責任 【学びに向かう力、人間性等】 要素実習を踏まえて、ものづくりに関する安全衛生、管理について自ら学び、主体的かつ協働的に学習に取り組む態度を身に付けている。	・人と技術と環境 ・安全管理 作業行動 服装 設備・道具	【主体的に学習に取り組む態度】 働くことの社会的意義や役割、安全な製品の製作など技術者に求められる倫理観や責任感について、主体的かつ協働的に学習に取り組む態度を身に付けている。			○	1
	B 工業規格 【知識・技術】 製図に関する規格の考え方を理解し、関連する技術を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 工業における標準規格の考え方を通じて工業の見方・考え方を深め、主体的かつ協働的に学習に取り組む態度を身に付けている。	・工業規格と製作図 日本産業規格 製作図 製図道具の使用法	【知識・技術】 製図に関する規格の考え方を理解し、関連する技術を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 工業における標準規格の考え方を通じて工業の見方・考え方を深め、主体的かつ協働的に学習に取り組む態度を身に付けている。	○		○	1
	C 図面の表し方 【知識及び技能】 図法及び製図道具の使い方を理解し、製図に関する技術の活用方法を理解し、ものづくりに求められる適切な図面を作成できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 製図を扱う分野、図面を必要とする分野について広く学び、製図の精度を向上させようとする態度を身に付けている。	・製図の役割 各種投影法 物体の表し方 投影図の描き方 透視図の描き方 ・製図検定問題集を使用	【知識・技術】 製図に関する規格を理解し、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 図面に関する課題を発見し、ものづくりに携わる者として科学的根拠に基づき対応し解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 図面の作成及び図面情報を読み取る力の向上を目指して自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	○	○	○	14
	D CADの機能 【知識及び技能】 コンピュータを用いた製図である、CADの特性を知り、扱い方を理解し、ものづくりに求められる適切な図面を作成できる。 【思考力、判断力、表現力等】 手描きによる製図を根拠に、コンピュータを用いて製図に関する課題に対応し、解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 製図を扱う分野、図面を必要とする分野について広く学び、CADを用いて製図の精度を向上させようとする態度を身に付けている。	・情報機器を活用した設計製図 ・CAD演習 ・一人1台端末の活用		○	○	○	10
	E 木材加工 【知識及び技能】 生産工程に沿って機械設備と手工具、工作法を理解し、加工に関する技術を身に付けている。	木工 ・加工方法 ・計測機器の活用 スケール ノギス	【知識・技術】 木材の性質と活用方法、加工方法と機械設備及び工具類の使い方を理解し、加工に関連する技術を身に付けている。	○			4
	F エレメント製造 【知識・技術】 製品の構成材、製品の構造及び機能を理解し、加工に関連する技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 用途と実用性、製作手順や技法を踏まえ、課題に対して創造的に解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 材料及び工具類の要素を踏まえて、加工技術向上を目指して学び、主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	エレメント ・家具、建具、照明器具、工芸品	【知識・技術】 材料及び工具類の要素を踏まえて理解し、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 製品が社会に与える影響に責任をもち、科学的な根拠に基づき検証改善、解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 材料及び工具類を踏まえて、加工物の設計手順について自ら学び、主体的に学習に取り組む態度を身に付けている。	○	○	○	14
G 木構造	・木構造	【思考・判断・表現】					

東京都立世田谷泉 高等学校 令和7年度 教科： 工業科 科目： 工業実習B

教科： 工業科 科目： 工業実習B 単位数： 2 単位

対象年次・講座： 1～4 年次

教科担当者： (藤井 祐介) (関口 旺人) (南端 美伸) (菅沼 寛) (向 麻里子) (榎葉 昌高) (勝澤 辰哉)

使用教科書： (自校作成テキスト)

教科 工業科 の目標：

- 【知識及び技能】 実習を通して、ものづくりにおける社会的な意義や役割と人と技術との関わりを踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。
- 【思考力、判断力、表現力等】 ものづくりに関する課題を発見し、ものづくりを行う者として科学的な根拠に基づき、ものづくりの進展に対応し解決する力を身に付けている。
- 【学びに向かう力、人間性等】 ものづくりに関する広い視野をもつことを目指して自ら学び、ものづくりの発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

科目 工業実習B の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実習を通して、ものづくりにおける社会的な意義や役割と人と技術との関わりを踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	ものづくりに関する課題を発見し、ものづくりを行う者として科学的な根拠に基づき、ものづくりの進展に対応し解決する力を身に付けている。	ものづくりに関する広い視野をもつことを目指して自ら学び、ものづくりの発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
前期	A 人と技術／責任 【学びに向かう力、人間性等】 要素実習を踏まえて、ものづくりに関する安全衛生、管理について自ら学び、主体的かつ協働的に学習に取り組む態度を身に付けている。	・人と技術と環境 安全管理 作業行動 服装 設備・道具	【主体的に学習に取り組む態度】 働くことの社会的意義や役割、安全な製品の製作など技術者に求められる倫理観や責任感について、主体的かつ協働的に学習に取り組む態度を身に付けている。			○	2
	B 測定具の活用 【知識・技術】 工業科の測定と計測機器の原理とを関連していることを理解し、技術を身に付けている。	・測定具の活用 スケール ノギス	【知識・技術】 工具や器具の扱い及び機械や装置類の活用を踏まえ、ものづくりにおける計測の意義、原理を理解し、それに関する技術を身に付けている。	○			4
	C 機械材料の加工性と活用 【知識・技術】 フライス盤を用いた機械材料の加工性や工作法を踏まえ、工作機械及び工作法が相互に関連し発達したことを理解し技術を身に付けている。 【思考・判断・表現等】 フライス盤を用いた加工工作法に関する課題を見いだすとともに解決策を考え、検証改善する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 フライス盤を用いた加工法について自ら学び、ものづくりに主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	・フライス盤 ・機械材料 フライス切削の基礎 フライス盤作業に求められる技能 実技と作業手順	【知識・技術】 材料および機械装置の要素を踏まえて理解し、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 製品が社会に与える影響に責任をもち、科学的な根拠に基づき検証改善、解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 機械装置とその要素および器具や、加工物の設計手順について自ら学び、主体的に学習に取り組む態度を身に付けている。	○	○	○	20
	D 材料の加工法 【知識・技術】 被覆アーク溶接を用いた材料の加工性や工作法を踏まえ、溶接に関する知識を理解し技術を身に付けている。 【思考・判断・表現等】 被覆アーク溶接に関する課題を見いだすとともに解決策を考え、検証改善する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 被覆アーク溶接を用いた加工法について自ら学び、ものづくりに主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	溶接 ・材料の加工法 溶接の基礎 被覆アーク溶接の特長と安全対策 アークの発生と安定維持	【知識・技術】 ものづくりに関する技術を実際の作業に即して総合的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ものづくりに関する技術に関する課題を発見し、ものづくりに携わる者として科学的な根拠に基づき、ものづくりの進展に対応し解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ものづくりに関する技術の向上を目指して自ら学び、その発展に主体的かつ協働的に学習に取り組む態度を身に付けている	○	○	○	24
	E マイクロプロセッサと処理装置 F 記憶装置と周辺機器 【知識・技術】 コンピュータにおける装置や機器の機能及び役割を理解し、データの処理手順を踏まえ関連する技術を身に付けている。	リテラシー ・コンピュータの構成 一人1台端末の活用	【知識・技術】 情報機器に関する機能及び役割を理解し、関連する技術を身に付けている。	○			6
	G 情報媒体の概要	情報媒体の活用技術	【知識・技術】				

後期	<p>H 情報媒体の表現技法</p> <p>【知識・技術】 情報機器を活用した具体的な事例を通して情報表現の特性を理解し、関連する技術を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現等】 情報媒体の特徴を踏まえデジタル化技術、アプリケーションソフトウェアを活用した表現などに関する課題を見いだし、結果を検証改善する力を身に付けている。</p>		<p>情報機器の機能及び役割を踏まえ、活用を通してそれらを理解し、関連する技術を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 多様化する利用者に配慮した情報伝達手段に着目し、情報媒体の活用技術に関する課題を見いだすとともに解決策を考え、結果を検証改善する力を身に付けている。</p>	○	○	8	
	<p>【思考・判断・表現等】 目的や状況に応じた選択、組み合わせを判断、情報デザインに配慮して評価改善できる力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 コンテンツ制作を通し、よりよい情報発信のために自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>	コミュニケーションとコンテンツ	<p>【思考・判断・表現】 コンテンツ制作と発信に関する技術を踏まえ、その課題を合理的かつ創造的に解決できる力を身に付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 様々な手段で情報を適切かつ効果的に発信するために自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>		○	○	10
	<p>【学びに向かう力、人間性等】 ものづくりの基礎を踏まえ、よりよいものづくりのための技術的な向上、自己評価を基に、主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>	工業実習B要素実習総括	<p>【主体的に学習に取り組む態度】 ものづくりを通じた技能、技術、安全衛生などの総合的な理解を踏まえ、進路選択におけるものづくり分野に係る学びに対し、主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>			○	4
							合計 78

東京都立世田谷泉 高等学校 令和7年度 教科： 工業 科目： 工業実習D

教科： 工業 科目： 工業実習D 単位数： 単位

対象年次・講座： 1～4 年次 ① ② ③ ④

教科担当者： ①藤井 祐介 ②関口 旺人 ③鈴木 昌英 ④菅沼 寛 ⑤向 麻里子 ⑥宗雪 好秀

使用教科書： (自校作成テキスト)

教科 工業 の目標：

- 【知識及び技能】 工業の各分野に関する技術を実際の作業に即して総合的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。
- 【思考力、判断力、表現力等】 工業の各分野に関する課題を発見し、工業に携わる者として科学的な根拠に基づき、工業技術の進展に対応し解決する力を身に付けている。
- 【学びに向かう力、人間性等】 工業の各分野に関する技術の向上を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

科目 工業実習D の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
工業及び、切削、自動車工学に関する各分野における技術を実際の作業に即して総合的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	工業及び、切削、自動車工学に関する課題を発見し、工業に携わる者として科学的な根拠に基づき、工業技術の進展に対応し解決する力を身に付けている。	工業及び、切削、自動車工学に関する技術の向上を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
前期	A 安全管理 【学びに向かう力、人間性等】 ものづくりについての安全衛生、管理に広い視野をもって自ら学び、主体的かつ協働的に学習に取り組む態度を身に付けている。	・総合実習に係る確認 ・安全管理 作業行動 服装 設備・道具	【主体的に学習に取り組む態度】 技術・技能、安全衛生や技術者として求められる倫理、環境などへの配慮など総合的に学び、もって主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。			○	1
	B 測定具の活用 【知識・技術】 工業料の測定と計測機器の原理とを関連していることを理解し、技術を身に付けている。	・測定具・工具の活用 切削工具 整備点検工具 測定具全般	【知識・技術】 工具や器具の扱い及び機械や装置類の活用を踏まえ、ものづくりにおける計測の意義、原理を理解し、それに関する技術を身に付けている。	○			1
	C 機械材料の加工性と活用 【知識・技術】 汎用旋盤を用いた機械材料の加工性や工作法を踏まえ、工作機械及び工作法を理解し技術を身に付けている。 【思考・判断・表現等】 汎用旋盤を用いた加工工作法に関する課題を見いだすとともに解決策を考え、検証改善する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 汎用旋盤を用いた加工法について自ら学び、ものづくりに主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	汎用普通旋盤 ・機械材料 旋盤切削の基礎 ・各種の工作法 普通旋盤作業に求められる技能 実技と作業手順	【知識・技術】 材料および機械装置の要素を踏まえて理解し、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 製品が社会に与える影響に責任をもち、科学的な根拠に基づき検証改善、解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 機械装置とその要素および器具や、加工物の設計手順について自ら学び、主体的に学習に取り組む態度を身に付けている。	○	○	○	37
後期	D 自動車工学 【知識・技術】 自動車整備を行い、科学的な知見に基づいて、作業の方法、工具の扱い、自動車を理解し、その技術を身に付けている。 【思考・判断・表現等】 自動車、モビリティ社会の課題を見いだすとともに解決策を考え、検証改善する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 自動車について自ら学び、ものづくりに主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	自動車工学 ・自動車における知識 ・自動車整備 工具類の適切な扱い方 リサイクルや環境問題	【知識・技術】 車両、自動車、社会的な役割を踏まえて、モビリティを理解し、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 自動車及び整備に関わる全てについて責任をもち、科学的な根拠に基づき検証改善、解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 各パーツおよび器具や、動力が移動する順番、機能について自ら学び、主体的に学習に取り組む態度を身に付けている。	○	○	○	18
	E 小型汎用エンジン演習 【知識・技術】 エンジン整備を行い、科学的な知見に基づいて、作業の方法、工具の扱い、自動車を理解し、その技術を身に付けている。 【思考・判断・表現等】 内燃機関の課題を見いだすとともに解決	小型汎用エンジンを使った演習 ・整備 知識 分解 組立	【知識・技術】 エンジン役割を踏まえて、動力、機構、機能を理解し、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 エンジンに関わる全てについて責任をもち、科学的な根拠に基づき検証改善、解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	17

期	策を考え、検証改善する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】		各パーツおよび器具や、動力が移動する順番、機能について自ら学び、主体的に学習に取り組む態度を身に付けている。				
	【学びに向かう力、人間性等】 ものづくりに係る内容を十分に学んだと踏まえ、自己評価を基に進路選択の要素として、さらに主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	工業実習D総合実習総括	【主体的に学習に取り組む態度】 ものづくりを通じた技能、技術、安全衛生などの総合的な理解を踏まえ、進路選択におけるものづくり分野に係る学びに対し、主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。				○
							合計
							78